

新型コロナウイルス感染症に対応した  
避難所運営ガイドライン 資料集

令和2年6月  
(令和5年11月改定)  
宮城県

# 目 次

資料1-1	新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付時〉	P 1
資料1-2	新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉	P 2
資料1-3	健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）	P 3
資料1-4	発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）	P 5

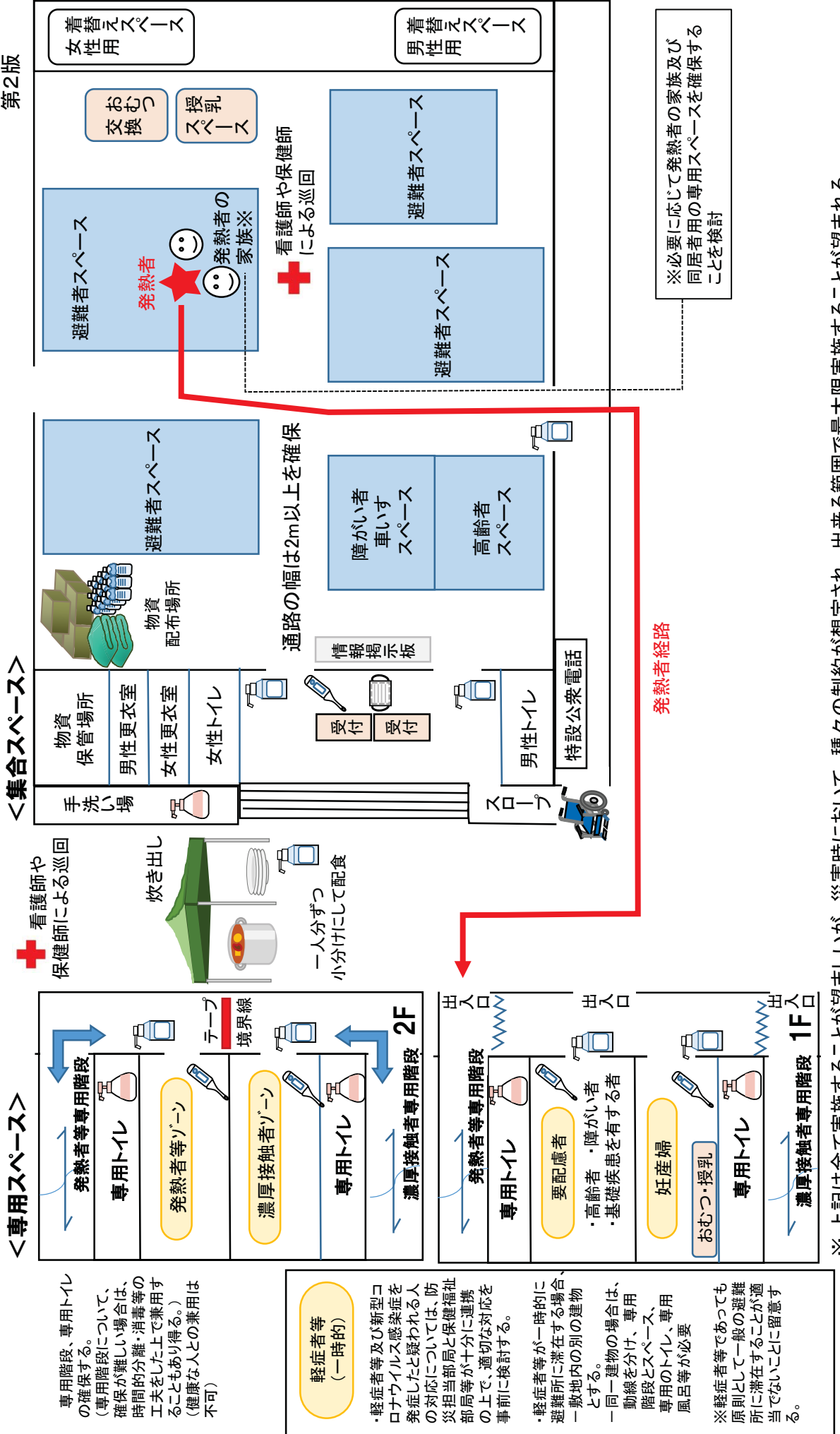
※ 資料1-1～1-4は、「『避難所における新型コロナウイルス感染症への対応の参考資料』（第2版）について」（令和2年6月10日府政防第 1262 号他）において示された避難所のレイアウト例になります。今後の避難所における感染対策の実施及び生活環境の向上を図る上で、引き続き活用して差し支えないこととされていますので、各市町村においては、本資料を参考に各避難所のレイアウトの検討をお願いします。

資料2	事前受付のレイアウト（例）	P 6
資料3	避難所入所時 問診票（例）	P 7
資料4	避難所運営にあたり場面ごとに想定される装備（参考）	P 8
資料5	体調チェック表（例）	P 9
資料6	新型コロナウイルス感染症対策へのご協力をお願いします！	P 10
資料7	次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方	P 11
資料8	新型コロナウイルスにおける環境整備の考え方	P 12
資料9	手洗いをして感染症を予防しましょう。	P 13
資料10	新型コロナウイルス感染症対策 チェックリスト	P 14



# 新型コロナウイルス感染症対応時の避難所レイアウト（例）〈避難受付以降〉

R2. 6. 10  
第2版



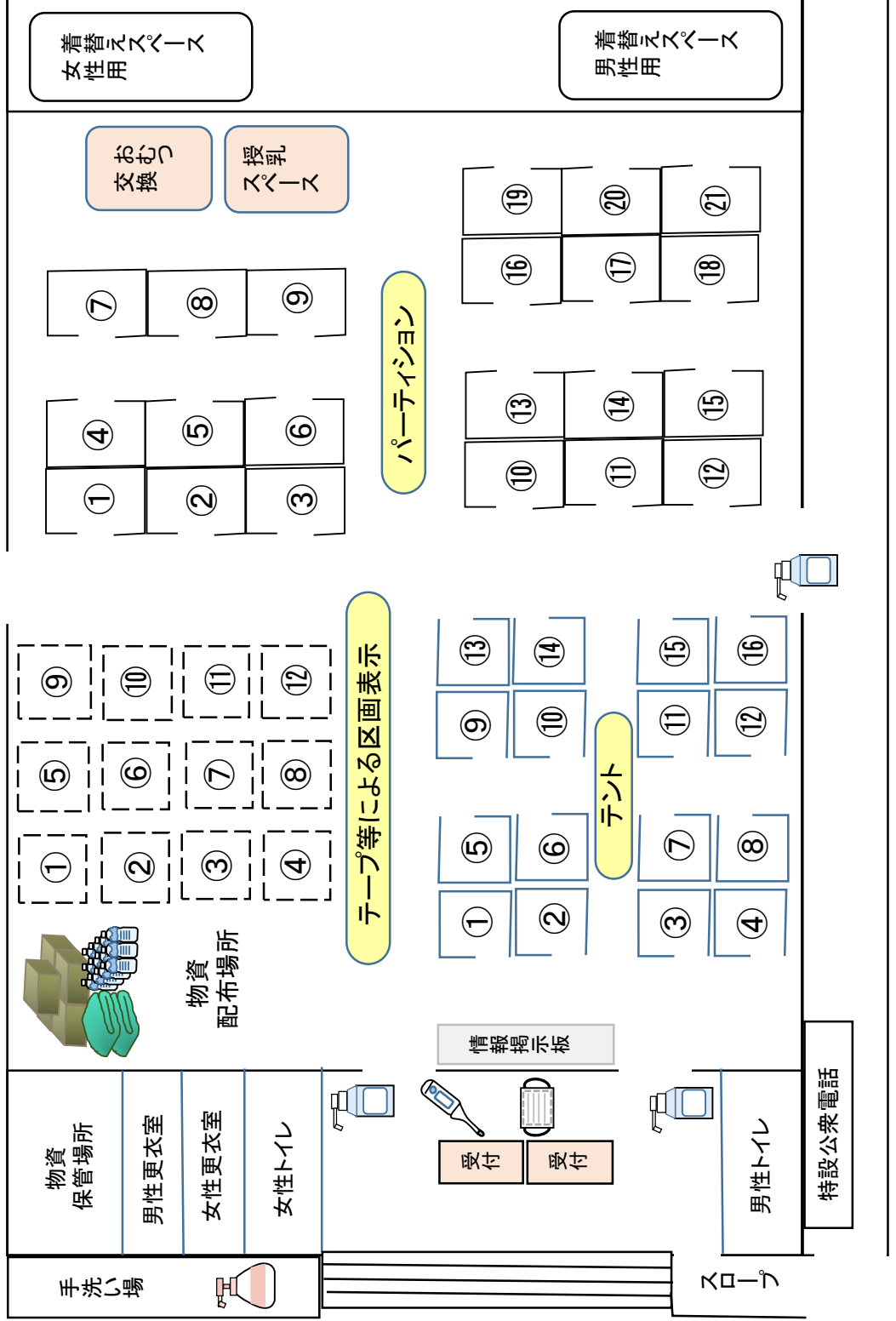
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時に於いて、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

R2.6.10  
第2版

資料1-3

- テープ等による区画表示やパーティション、テントを利用する場合は、番号等を付し、誰がどの番号等の区画等に滞在しているか分かるように管理する。



## 健康な人の避難所滞在スペースのレイアウト（例）

- 体育館のような広い空間において、健康な人が滞在するスペースとしては、以下のような方法が考えられる。感染対策やプライバシー保護の観点からは、パーティションやテントを用いることが望ましい。
- 感染リスクの高い高齢者・基礎疾患を有する人・障がい者・妊産婦等が滞在する場合には、避難所内に専用スペースを設けることが望ましいが、体育館内に専用ゾーンを設け、以下と同様の考え方で利用することも考えられる。

### テーブル等による区画表示

(例)

3m 1m~2m以上  
3m 1m~2m以上

- 一家族が一区画を使用し、人数に応じて区画の広さは調整する
- 家族間の距離を1m以上あける

※スペース内通路は出来る限り通行者がすれ違わないように配慮する必要がある

### パーティションを利用した場合

- 飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにするのが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

(例)

1m~2m以上

段ボールベッド

### テントを利用した場合

(例)

1m~2m以上 1m~2m以上

1m~2m以上

- テントを利用する場合は、飛沫感染を防ぐために屋根がある方が望ましいが、熱中症対策が必要な際には、取り外す。



※ 人と人の間隔は、できるだけ2m（最低1m）空けることを意識して過ごしていただくことが望ましい。

※ 避難所では、基本的にマスクを着用することが望ましい。特に、人と人の距離が1mとなる区域に入る人はマスクを着用する。

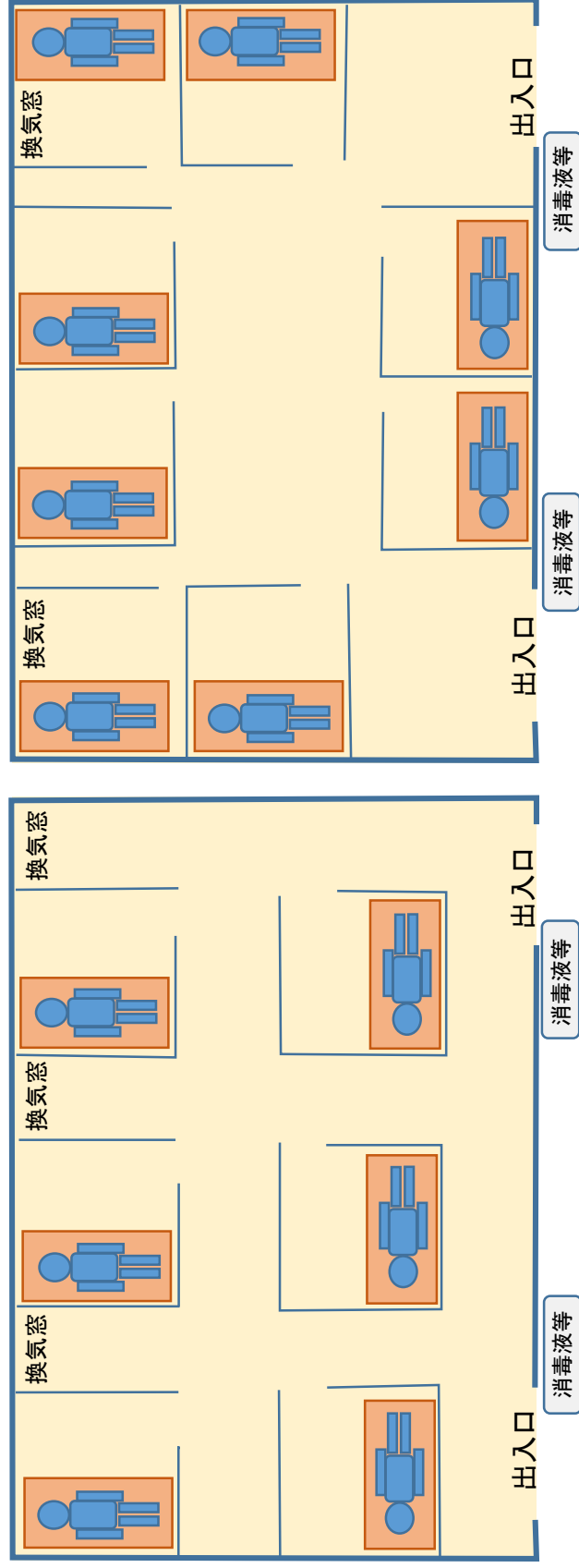
※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 発熱・咳等のある人や濃厚接触者専用室のレイアウト（例）

R2. 6. 10  
第2版

- 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、それぞれ一般の避難者とはゾーン、動線を分けること。
- 発熱・咳等のある人は、可能な限り個室にすることが望ましいが、難しい場合は専用のスペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。
- 濃厚接触者は、可能な限り個室管理とする。難しい場合は専用スペースを確保する。やむを得ず同室にする場合は、パーティションで区切るなどの工夫をする。  
※濃厚接触者は、発熱・咳等のある人より優先して個室管理とする。
- 人権に配慮して「感染者を排除するのではなく、感染対策上の対応であること」を十分に周知する。

(例)



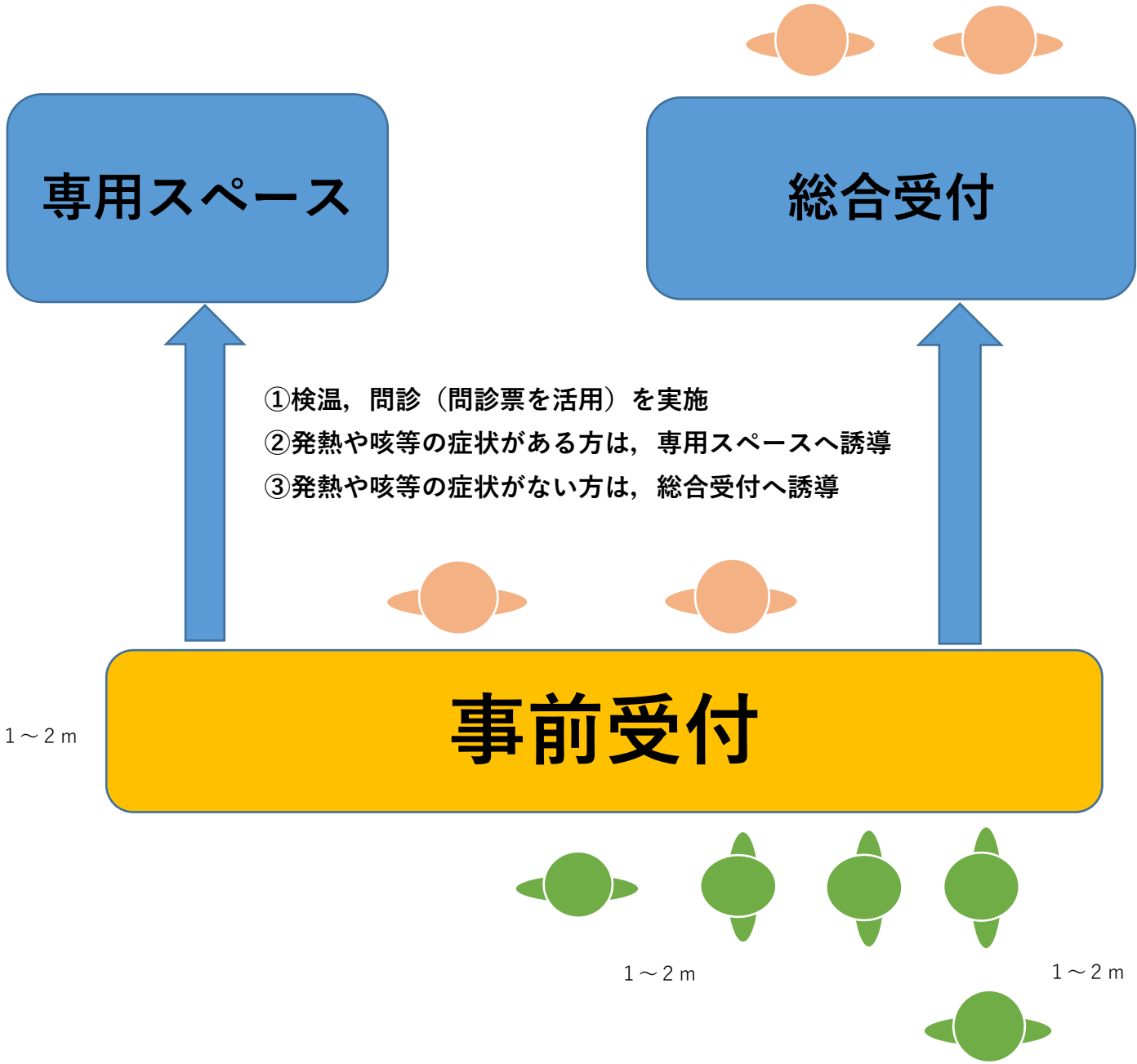
※飛沫感染を防ぐため、少なくとも座位で口元より高いパーティションとし、プライバシーを確保する高さにすることが望ましい。また、換気を考慮しつつ、より高いものが望ましい。

- ・軽症者等は、予め災害時の対応・避難方法等を決めておくことが望ましいが、避難所に一時的に滞在する可能性がある。
- ・感染予防および医療・保健活動のしやすさの観点から、地域における感染拡大状況や、各避難所、活用するホテル・旅館等の状況を踏まえ、防災担当部局や保健福祉部局等の連携のもと、必要に応じて特定の避難者の専用の避難所を設定することも考えられる。  
(例：高齢者・基礎疾患を有する者・障がい者・妊産婦用、発熱・咳等の症状のある者用、濃厚接触者用)

※ 発熱・咳等のある人及び濃厚接触者は、マスクを着用する。

※ 上記は全て実施することが望ましいが、災害時において、種々の制約が想定され、出来る範囲で最大限実施することが望まれる。

# 事前受付のレイアウト (例)



※事前受付の具体的な設置方法等については、本編P 4 「(3) 事前受付の設置」を参照



避難所入所時 問診票 (例)

資料3

受付日：令和 年 月 日

避難所名	氏名	年齢

1	発熱はありますか	はい・いいえ
2	頭痛がありますか	はい・いいえ
3	鼻水や鼻づまりがありますか	はい・いいえ
4	息苦しさがありますか	はい・いいえ
5	味や匂いを感じられない状態ですか	はい・いいえ
6	咳やたんがありますか	はい・いいえ
7	全身倦怠感がありますか	はい・いいえ
8	嘔吐や吐き気がありますか	はい・いいえ
9	下痢が続いていますか	はい・いいえ
10	目が赤く、目やにが多くないですか	はい・いいえ
11	からだにぶつぶつ（発疹）が出ていますか	はい・いいえ
12	現在、医療機関に通院していますか (症状： )	はい・いいえ
13	現在、服薬していますか？ (薬名： )	はい・いいえ
14	そのほか気になる症状はありますか	はい・いいえ
	※「はい」の場合、具体的にご記入ください	
15	避難所での行動に際し、介護や介助が必要ですか	はい・いいえ
16	避難所での行動に際し、配慮を要する障がいがありますか	はい・いいえ
	※「はい」の場合、具体的にご記入ください	
17	乳幼児と一緒にですか（妊娠中も含む）	はい・いいえ
18	呼吸器疾患、高血圧、糖尿病、その他の基礎疾患はありますか	はい・いいえ
	※「はい」の場合、具体的にご記入ください	
19	てんかんはありますか	はい・いいえ
20	新型コロナウイルス感染症への感染が確認されていて、発症日を0日目として5日目以内ですか。又、5日経過したものの、症状が継続しているか、症状が軽快してから24時間以内ですか。	はい・いいえ

(以下は、受付担当者が記入します)

受付者名	
体温	°C
避難所滞在区画・スペース	

## 避難所運営にあたり場面ごとに想定される装備（参考）

以下を参考として、避難所の状況に応じて判断し、対策を行ってください。

	マスク	目の防護具 ※1	使い捨て手袋 ※3	掃除用手袋 ※3, 4	長袖ガウン ※5
避難所受付時の対応	○	△ ※2	○		
清掃、消毒	○	○		○	
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用スペースでの対応 ※6	○	○	○		
発熱、咳等の症状のある人や濃厚接触者の専用スペースの清掃、消毒	○	○		○	
軽症者等ゾーンでの対応 ※6	○	○	○		
軽症者等ゾーンでの清掃、消毒	○	○		○	○
ゴミ処理	○	○		○	○
リネン、衣類の洗濯 ※7	○	○		○	
シャワー・風呂の清掃	○	○		○	○ ※8

※1 フェイスシールド又はゴーグル。（目を覆うことができる物で代替可）

※2 スタッフの個々が担当する内容に応じて使用する。

（例：受付で連続して同じ人が複数の避難者に対応する際は着用する。単発的に、短時間（一人15分以内）で接する際は着用不要。）

※3 手袋を外した際には、手洗いをを行う。使い捨てビニール手袋も可。

※4 手袋を覆えるもの。使い捨て手袋・使い捨てビニール手袋も可。（複数人での共用は不可）

※5 医療用ではないので、ゴミ袋での手作り、カップでの代用も可。

※6 保健・医療活動は、保健師、看護師、医師が行う。

※7 体液等で汚れた衣服、リネンを取り扱う際の装備。

※8 撥水性のあるガウンが望ましい。

# 体調チェック表 (例)

ふりがな	※その他 記入事項
氏名	

		／ (月)	／ (火)	／ (水)	／ (木)	／ (金)	／ (土)	／ (日)
体 温		朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C	朝 °C 昼 °C 夕 °C
[息苦しさ]	一つでも該当あれば「はい」を選択 ●息が荒くなった (呼吸数が多くなった) ●急に息苦しくなった ●少し動くと息があがる ●胸の痛みがある ●横になれない・座らないと息ができない ●肩で息をしている・ゼーゼーしている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
[味覚・嗅覚]	味や匂いを感じられない	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
[喀痰・咳嗽]	咳やたんが、ひどくなっている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
[全身倦怠感]	起きているのがつらい	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
[嘔気・嘔吐]	嘔吐や吐き気が続いている	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
[下痢]	下痢が続いている (1日3回以上の下痢)	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ	はい・いいえ
	その他の症状 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">                     食事が食べられない                      半日以上尿が出ていない                      鼻水・鼻づまり、のどの痛み                      結膜充血、頭痛、関節筋肉痛                      けいれん、その他の気になる症状                 </div>	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)	はい・いいえ (具体の症状)

6

# 新型コロナウイルス 感染症対策

へのご協力を  
お願いします！

## ほかの人につさないため

- 隣の人とは、1～2メートル以上離れて過ごしましょう
- マスク着用は個人の判断が基本となるものの、高齢者などの重症化リスクの高い方への感染を防ぐため、混雑した場面ではマスクの着用が推奨されます
- 高齢者などの重症化リスクの高い方は、感染から自身を守るための対策として混雑した場面ではマスク着用が効果的です
- 症状がある方や、新型コロナウイルス感染症の検査で陽性となった方などは、できるだけ専用スペースからの外出は避け、やむを得ず外に出る場合にはマスクを着用してください
- ドアノブ等の共有部分に触れた後は、手洗い、消毒を徹底しましょう
- 毎日、体温・体調チェックをしましょう
  - ◆朝、昼、夕 3回実施
  - ◆発熱や体調が良くないときは、スタッフへ報告してください
- 居住スペース以外で食事をとらないようにしましょう

## 避難所運営上の協力のお願い

- 定期的に換気しましょう
  - ◆30分に1回以上、数分間程度、2方向の窓を全開
- ドアノブ等の共有部分の消毒、トイレの清掃は毎日こまめに実施しましょう。
  - ◆共有部分は、0.05%次亜塩素酸ナトリウムで拭く
- 物品や食事の提供時は、手渡しを避けましょう
- ごみは各家族で、ごみ袋の口を縛って捨てましょう

# 次亜塩素酸ナトリウム消毒液の作り方

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。

※ 家庭用の塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムを含むもの）でも代用できます。

## ■家庭用塩素系漂白剤（次亜塩素酸ナトリウムの濃度約5%）を使った消毒液の作り方

	高頻度部位や物品の 消毒や拭き取り 500ppmの濃度の塩素消毒液 (0.05%)		トイレの拭き取り 1000ppmの濃度の塩素消毒液 (0.1%)	
	液の量	水の量	液の量	水の量
製品の濃度 約5%	5ml (※1)	500ml	10ml	500ml
作成方法	①500mlのペットボトルに水を半分ほど入れます。 ②漂白剤5mlを入れます。 ③500mlになるように、再度水を加え、ふたをして、よく振り混ぜ合わせれば完成です。		①500mlのペットボトルに水を半分ほど入れます。 ②漂白剤10mlを入れます。 ③500mlになるように、再度水を加え、ふたをして、よく振り混ぜ合わせれば完成です。	

※1：ペットボトルのキャップ1杯が5ml

- ・消毒液作成の際には、ビニール手袋等を使用し、直接原液に触れないようにしましょう。
- ・濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。
- ・製品毎に次亜塩素酸ナトリウムの濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。

### 消毒液を使用する際の注意事項

- ・次亜塩素酸ナトリウムには金属腐食性があるため、金属部消毒後は、十分に薬剤を拭き取りましょう。
- ・汚れた雑巾を消毒液の中に入れると、次亜塩素酸ナトリウムを消費し、消毒効果が著しく減少するため、バケツなどに消毒液を入れて使用する場合は1回毎に入れ替えて下さい
- ・作った消毒液は、時間の経過で効果が減少していくため、こまめに作り使い切りましょう。（原液は、密封し、冷暗所で保管してください。）

### 危険

- ・消毒液を入れた容器は、飲用不可や消毒液等の表示をして、乳幼児の手の届かないところへ保管し、誤飲に気を付けて下さい。
- ・換気を十分に行って使用して下さい。
- ・有毒な塩素ガスが発生しますので、原液及び消毒液は、酸性のものと絶対に混ぜないこと。
- ・皮膚に付着した場合には、直ちに大量の水で十分に洗い流して下さい。
- ・目に入った場合は、直ちに大量の水で洗い流し、医師の診察を受けて下さい。

## 新型コロナウイルスにおける環境整備の考え方

患者が発生した際、高齢者施設、不特定多数が利用する施設内、自宅等において、大がかりな消毒は不要とされています。ただし、ウイルスが環境中に長く残存する可能性があるため、以下の対応が推奨されています。

- 1 長時間の滞在が認められた場所においては、換気を行う。
- 2 患者周囲の高頻度接触部位（ドアノブ、机、椅子の背、パソコン、電話）などは、アルコールあるいは0.05%の次亜塩素酸ナトリウムによる清拭での消毒の励行

### 消毒の方法・手順

準備： 消毒液（下記及び別紙参照）

タオル（使い古しで良い）やペーパータオル

使い捨て手袋、マスク、手指消毒用アルコール（あれば）、ゴミ袋

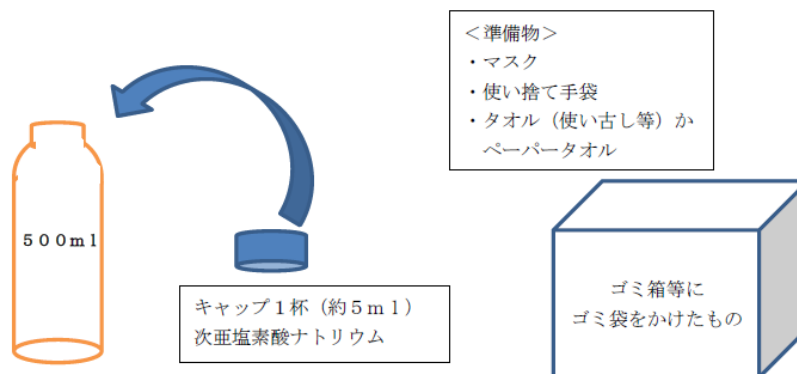
消毒の範囲： 患者さんがよく触った場所やモノ

例：ドアノブ、スイッチ類、手すり、机、椅子の背、パソコン、電話等

消毒の手順

- 1 ゴミ袋を広げておく
- 2 室内に窓がある場合は換気のために解放する
- 3 マスク、使い捨て手袋を装着し、規定の濃度に消毒液を作る
- 4 タオルやペーパータオルを絞れる程度まで消毒液でぬらし、拭く  
(5 脱色・腐食の可能性があるものは、水拭きする)
- 6 マスク、使い捨て手袋を外し、ゴミ袋に廃棄
- 7 手指消毒を行う（ない場合は流水による手洗いを行う）
- 8 窓を閉める

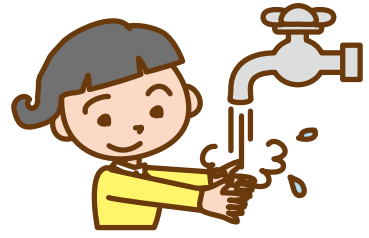
### 消毒（0.05%の次亜塩素酸ナトリウム）の準備



# 手洗いをして感染症を予防しましょう。

## 手洗いの手順

- ◎手を洗う前には、指輪や腕時計を外しましょう。
- ◎お子さんが手を洗うときは、大人が付き添ってあげましょう。



1

石けんをつけ、手のひらを合わせてよく洗います。



2

手の甲を伸ばすように洗います。



3

指先・爪の間をよく洗います。



4

指の間を十分に洗います。



5

親指と手掌をねじり洗います。



6

手首を洗います。



7

流水でよく手をすすぎます。



8

清潔なタオルで（共用はしません）よく拭きます。



汚れが落ちにくいところ



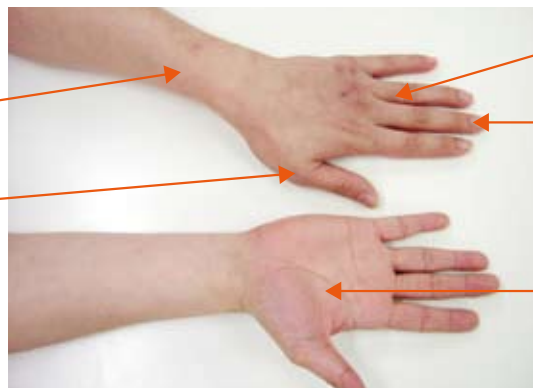
手首

親指

指の間

指の先

手のしわ



## 新型コロナウイルス感染症対策 チェックリスト

### 1 事前対策

<input type="checkbox"/> 住民への広報として、住民が避難する前に準備、検討することを事前に周知
<input type="checkbox"/> 資機材の準備、備置品の拡充
<input type="checkbox"/> 三つの密を避けるための避難所の確保
<input type="checkbox"/> 避難所のレイアウトの作成
<input type="checkbox"/> 事前受付のレイアウトの検討
<input type="checkbox"/> 災害発生時における感染者等の安否確認方法や関係機関が連携して情報を収集する体制について、保健所等と事前に検討
<input type="checkbox"/> 避難所の設営に係る役割分担を事前に決定

### 2 避難所の開設・運営

#### 〈初動対応・事前受付〉

<input type="checkbox"/> 可能な限り多くの避難所を開設
<input type="checkbox"/> 事前受付を設置
<input type="checkbox"/> 事前受付にアルコール消毒液を設置
<input type="checkbox"/> 避難者のマスク着用を推奨、手洗いを徹底
<input type="checkbox"/> 検温するスタッフは、マスクに加え、使い捨て手袋、エプロン、フェイスシールド等を装着



### 〈感染予防対策〉

<input type="checkbox"/> 事前受付を継続し、避難所に人の出入りがある毎に、体温等の健康状態を確認
<input type="checkbox"/> 避難者及び運営スタッフに体調チェック表を配布し、毎日体温等の健康状態を確認
<input type="checkbox"/> アルコール消毒液は、人の出入りが多い避難所の出入口、トイレ周辺、食事スペース等に複数設置し、入館時には、必ず手指消毒を行うよう徹底
<input type="checkbox"/> 30分に1回以上、数分間程度、2方向の窓を全開する定期的な換気の実施
<input type="checkbox"/> 手すり、ドアノブ等の人々が接触する共有部分は1日最低1回消毒
<input type="checkbox"/> トイレや洗面所の定期的な清掃及び消毒
<input type="checkbox"/> 物品や食事の配給時は、一度机に置くこと等により接触感染を回避

### 〈その他〉

<input type="checkbox"/> 避難者名簿の作成
<input type="checkbox"/> 車中泊（車中避難）等への対応を検討